

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2734	せらび新横浜	(株)日本ケアリンク	H28.1.15
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	B	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	C	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	B	2.3.7	B	C	6.2.4	C	A
1.2.1	B	A	2.3.8	非	非	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	B	A	6.2.6	A	A
1.2.3	B	A	2.3.10	B	A	6.2.7	B	A
1.3.1	B	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	B	B	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	B	B	6.3.1	A	A
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	B	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	B	3.1.2	A	A	7.3.1	A	B
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非	非	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	B	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	A	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	B	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	C	A
2.2.3	A	A	4.2.1	B	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	B	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	B	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	B	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	B	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-5	「入居者・ご家族のみならず職員同士も敬意を込めた挨拶から始まるコミュニケーションの実践」を目標にホーム長は組織をリードしている。負荷が大きくなりがちなリーダー職の補佐としてサブリーダー職を配置し、「言葉づかい自己診断表」を使用して日々のケアの対応や負荷を振り返る等、職員の就業環境を把握し、チーム力の向上とモチベーション維持に努めている。
5-2-5	ホームは「口から食べる」を大切に、入居者の口腔ケアに取り組んでいる。毎週ホームを訪問し、嚥下チェック等する協力歯科医の指導のもと、口腔ケア、マッサージなど専門的な方法を取り入れ、職員が入居者に実施している。食事の形態、飲み物・汁物のとろみ、スポンジブラシ・口腔内ジェルの使用など、協力歯科医による入居者一人ひとりにあった細かい指示は、口腔機能の低下を防ぎ、誤嚥性肺炎・胃ろうの予防にもなっている。
4-2-2	アクティビティは、イベント委員会が中心になって計画し、評価・課題を抽出して次にいかしている。外部から講師を招くりハビリ体操、書道、生け花などの他、ユニットごとのドライブも好評で、イルミネーションや梅・桜を観に行っている。また、ホームで飼っている犬をはじめ動物と触れ合うアニマルセラピーや、音楽に合わせて体を動かし、楽器に触れる音楽療法は、入居者から笑顔が溢れ、残存機能の維持と改善につながっている。
6-2-8	家族に入居者の様子を知らせる取り組みとして、必要な都度の連絡以外に、月のご様子・せらび新聞・ホーム長よりの文書・音楽療法のご様子（使用した楽器と入居者の写真入り）・リハビリ報告書・歯科治療口腔ケアの内容などが毎月送られている。本人の写真や細かい記録は、入居者の様子がよくわかると家族に喜ばれており、次の会話のきっかけにつながり、ホームに来る機会も増え、家族との交流が促進されている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-4-1	職員のキャリア段階は6つの等級に分かれている。それらのキャリアステップにおける研修体系として、ホーム長研修、リーダー研修、新卒者・中途採用者研修がありそれぞれの役割に必要な知識・技能を習得させる場となっている。しかしながら、個人別研修履歴など職員一人ひとりの育成計画は明確になっておらず、育成面接を基軸とした個人別育成計画の策定が期待される。
2-2-11	居室明け渡し時の原状回復義務については、入居契約書に「通常の使用に伴い生じた居室の損耗を除き居室を原状回復すること」と規定し、また、その内容は国土交通省による「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」によるとしている。しかしながら、管理規程等に詳細を記述した条項はなく、入居者の不安を払拭するためにも、原状回復の詳細を記述した規程の策定が望まれる。
2-4-2	介護の手順を記述した業務マニュアルをはじめ、感染症対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、内服・外用薬管理手順等多数のマニュアルがインデックスにより区分して、ファイルされている。これらのマニュアルについては、随時見直しが行われているが、定期的に決められた見直しのサイクルはなく、改定の記録も明確になっていない。今後は、改定ルールの設定と運用管理が求められる。
7-3-1	お風呂は、一般浴室と機械浴室が合計5か所あり、入居者の心身状況に合わせて、選択されている。また、入浴をシャワー浴・足浴・清拭などに代替を行う他、入浴日の変更も行っている。入浴時間は、9時30分～17時で、入居者の希望があれば、職員配置を考慮しながら、19時30分までは実施している。今後さらに、就寝前などの希望などに応えられるよう幅広い取り組みが期待される。